

高感度で低侵襲なアレルギー診断技術を提供する
ベンチャー企業を設立

徳島大学疾患酵素学研究センター〔センター長：木戸博（きど ひろし）〕では、独立行政法人科学技術振興機構（JST）からの受託事業による研究開発成果を基に、大学発ベンチャー企業を設立しました。

[送付枚数8枚（本紙を含む）]

（報道概要）

平成20年度より独立行政法人科学技術振興機構（JST）から委託事業として受け入れた研究開発課題「低侵襲性高感度マルチ抗原アレルギー診断チップの開発研究」（開発代表者：疾患酵素学研究センター長 木戸博、起業家：鈴木宏一）により、革新的カルボキシル化 DLCたんぱくチップの技術とその関連技術について研究を重ね、このたび、微量の血液や臍帯血（さいたいけつ）、唾液、鼻汁、涙液などの体液を検体として用いて、1回の検査で多項目のアレルギー原因物質（アレルゲン）を診断できる画期的な「低侵襲性高感度マルチ抗原アレルギー診断チップ」の開発に成功しました。

この成果を基に平成22年5月27日（木）、本研究に携わった徳島大学の教職員らが出資して「応用酵素医学研究所 株式会社」を設立しました。

なお、今回の企業の設立は、以下の事業の研究開発成果によるものです。

独立行政法人科学技術振興機構（JST）

独創的シーズ展開事業 大学発ベンチャー創出推進

研究開発課題：

「低侵襲性高感度マルチ抗原アレルギー診断チップの開発研究」

開発代表者：木戸博（徳島大学疾患酵素学研究センター教授）

起業家：鈴木宏一

つきましては、本件について取材くださるようお願いいたします。

また、本件については、本日、独立行政法人科学技術振興機構（JST）から報道発表があり、同機構のホームページにも掲載されております。

独立行政法人科学技術振興機構（JST）ホームページ

URL <http://www.jst.go.jp/pr/info/info739/index.html>

お問い合わせ先

部局名 疾患酵素学研究センター

責任者 センター長 木戸博

担当者 木戸博

電話番号 088-633-7423

メールアドレス kido@ier.tokushima-u.ac.jp